



特集

# おも ハタチの想い

令和6年 佐野市二十歳のつどい

今回の特集では、各会場の様子や「ハタチ」を迎えた若者たちの将来の目標や想いに迫ります。

式典が終わると、二十歳のつどい企画運営委員の皆さんが主となり、抽選会を開催。各会場とも笑い声に包まれ、大いに盛り上がりを見せていました。

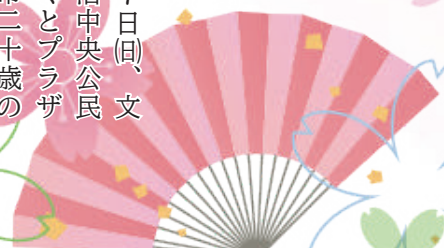
式典を支えたのは、二十歳のつどい企画運営委員のメンバーたち。参加者は「二十歳のつどい代表のことば」や来賓からの祝辞に、自覚に満ちた凛々しい表情で耳を傾けていました。

式典を支えたのは、二十歳のつどい企画運営委員のメンバーたち。参加者は「二十歳のつどい代表のことば」や来賓からの祝辞に、自覚に満ちた凛々しい表情で耳を傾けていました。

令

和6年1月7日(日)、文化会館、田沼中央公民館、葛生あくどプラザ

会場 文化会館  
対象者 835人  
出席者 693人





## 二十歳を迎えて

私は現在、教員を目指しており、毎週、出身小学校で学生ボランティアとして子どもたちの学びを支援しています。子どもたちは、会う度にできることが増えていて、とても驚かされます。私自身「できる」「できない」で物事を判断して挑戦をためらうことが増えたように思いますが、子どもたちはそうではなく「やってみたい」「できるようになりたい」と、常に向上心があるように感じます。

この経験から、将来本当に自分がやりたいことをするために、今必要なことは何かを考え、挑戦をためらわずに実践するようになりました。

私は、佐野市で盛んなクリケットの日本代表強化選手としても日々の練習に励んでいます。以前は、教員を目指すため、大学までで選手を引退するつもりでしたが、子どもたちのひたむきな姿に接し、自分のこれまでの人生を振り返ることで、教員とクリケットの両立を目指したいと考えるようになりました。

教員とクリケット日本代表の二刀流を実現させ、子どもたちに夢を与えるために、向上心と探究心を常に持ち続けていきたいと思っています。

平塚 和雅 さん

Hiratsuka Kazumasa

二十歳のつどい企画運営委員 佐野会場1部 代表のこぼ